

京都機械工具株式会社

本社久御山工場 KTCものづくり技術館/京都府久御山町

当社は、「お互いに誠実でたゆまず前進し軽くて強く使いやすい工具を創り社会に貢献しよう」を社是として掲げ、ツール(工具)を製造販売することで、「安全、快適、能率・効率」を実現し、社会に貢献することを使命としております。

また、「地球に、社会に、私たちができること」としてESGに組み、S(社会)に対しては「良き企業市民として地域社会への貢献」を掲げ、地域活動に積極的に参画するとともに、災害時に自治体の要請に基づき避難場所として当社施設を提供することに關する協定を締結しております。



外観

補助事業の概要

導入設備: 停電対応型GHP 56kW×10台

補助金額: 37,103千円(補助率1/2)

災害時の設備用途: [発 電] 1階(スタジオ)、2階(総務部/人事部居室)のコンセントへ給電
1階(スタジオ)、2階(プレゼンルーム・総務部/人事部居室)、3階(DR室)の照明へ給電
[空 調] 1階(ショールーム・品質保証部/品質評価室 など)
2階(プレゼンルーム・M1応接室・M1会議室・総務部/人事部居室・簡易応接室 など)
3階(Jルーム・M3会議室・ミーティングルーム・閲覧コーナー・DR室 など)

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	2,700㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

京都機械工具株式会社 コーポレートサービス本部 竹内 昇 様

KTCものづくり技術館は2002年の竣工から20年が経過し、9台の室外機の内1台が故障。補修部品の入手が困難なことから、全数の更新を計画しました。構内に中圧の都市ガスの引き込みがあることからガス会社及び工事業者から補助金を活用した提案を受け、補助金の申請をすることになりました。

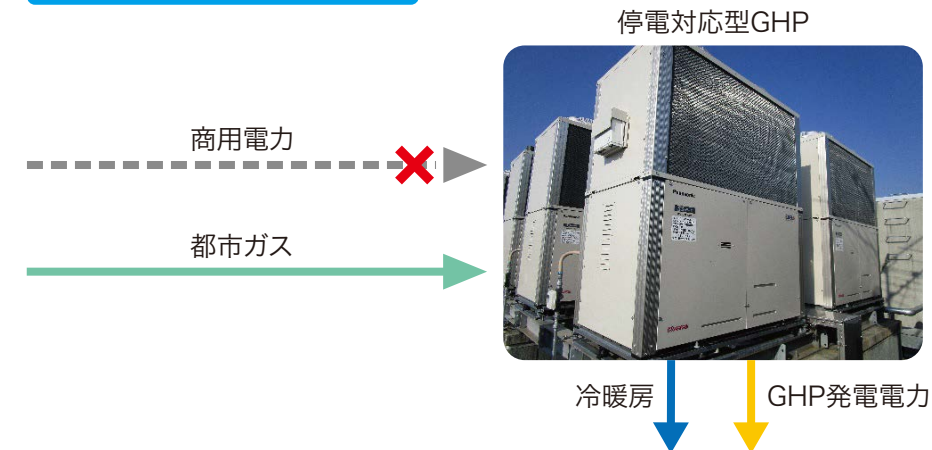
KTCものづくり技術館は、弊社創業50周年の2000年に企画した記念棟であり、そのコンセプトの一つにお客様や地域住民との「情報の受信基地」を掲げ、会議室の一般開放も計画しておりました。当該施設がある久御山町は、巨椋池の干拓地であり、宇治川・木津川に囲まれた低地であることから水害リスクが高く、また南海トラフ地震等の発生確率も極めて高くなっております。ものづくり技術館は、新耐震設計の3階建ての建物です。また停電対応型のGHPの導入により、避難所として有効であることから、久御山町に協定を申し入れし、締結に至りました。

中圧の都市ガスの引き込みが既にあり、停電対応型GHPの導入は自然災害発生等の有事に有効であることから、BCP(M)の観点から導入すべきと提案し採用されました。

阪神淡路大震災での中圧の都市ガスは、ダメージを受けず、BCP(M)の観点から大変有効であると認識していたこともあり、今回の停電対応型都市ガス設備導入の決め手となりました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

2階 プレゼンルーム



2階 M1応接室



2階 M1会議室



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



照明



コンセント

協定概要

久御山町とは「災害時における一時避難所等施設利用に関する協定書」を締結(令和3年12月)。地震及びその他大規模災害発生時において、避難所及び一時避難場所として利用することを定めています。避難スペースでは、停電対応型の空調導入により災害時でも空調が継続利用できる仕様となっています。